

# HIROSHIMA Pilotis

ヒロシマピロティ

交番での活動やまちの人たちを受け入れる「大きな屋根の下の自由な空間」と「力強い柱」を中心に、広島のみなさんの心のよりどころとなる生命力溢れた「大きな木々のような交番」を提案します。

## 平和を願うまち広島にふさわしい生命力溢れる建築をつくる

広島を改めて訪れた私たちは、今も残る戦争の記憶と平和への強い願いに心を打たれ、ここに、「平和を願うまち広島らしい生命力に溢れる建築をつくる必要がある」と実感しました。この交番を3つのコンセプトを軸に実現します。

- 1 交番を人々が集うプラットフォームと捉え、様々な活動と人の気配が感じられる温かさのある建築をつくります。
- 2 街に対して壁で隔てるのではなく、大きな屋根により「人々の拠り所」と「開かれた街並み」をつくります。
- 3 「力強い屋根・柱」と「更新可能なピロティ空間」により時代を超え100年後もたち続ける建築をつくります。



通りからの全景



客溜りからカウンターを見る



2階会議室入口から奥を見渡す



カウンターから通りを見る



2階奥からカウンターを見る

(1) 親しみやすさと力強さを備えた機能的な施設づくり

## 「力強い柱」と「大きな屋根とその下の自由な空間」

広島を歴史・文化が持つ「強さ」とまちに溶け込む(A,B,C,D,E)け込む「弱さ」が共存した生命力溢れる交番

### A 広島にしかない空間を継承し発展させます

[文化・歴史]

私たちは広島を歩き観察するうちに、「力強い柱」と「大きな屋根とその下の自由な空間」に広島にしかない居場所を感じました。これらを継承した交番をつくります。

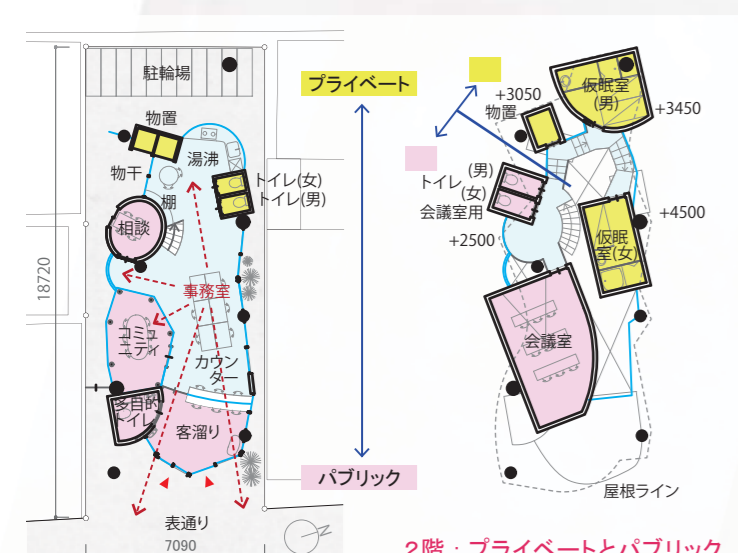


広島平和記念資料館 おりづるタワー 厳島神社 大鳥居

私たちは、架構・物質・建築がもつ空間の力を信じています。

### B 多様な居場所をもつシンプルで明快な平面計画・動線

- ・大きな屋根下のワンルームの空間は、まちに開かれた通り側から奥に行くほど勤務員専用空間が確保される安全で明快な配置とします。
- ・プライバシー性の高い諸室は明快な室とし、その周りに多様な居場所が生まれるように配置計画します。



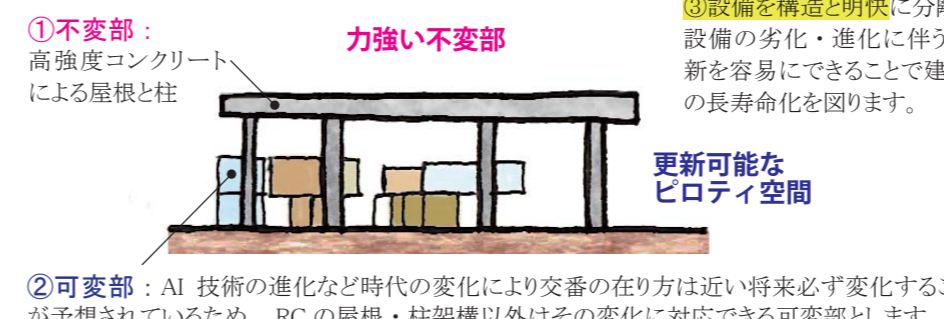
1階：中央の事務室を中心に見通しのきくワンルーム

平面図 1/300



## C 100年後もたち続ける時を超える建築と仕組み

時を超えること、時と共に変容することが同在する建築こそ、変化の激しい現代に必要なことと考えます。



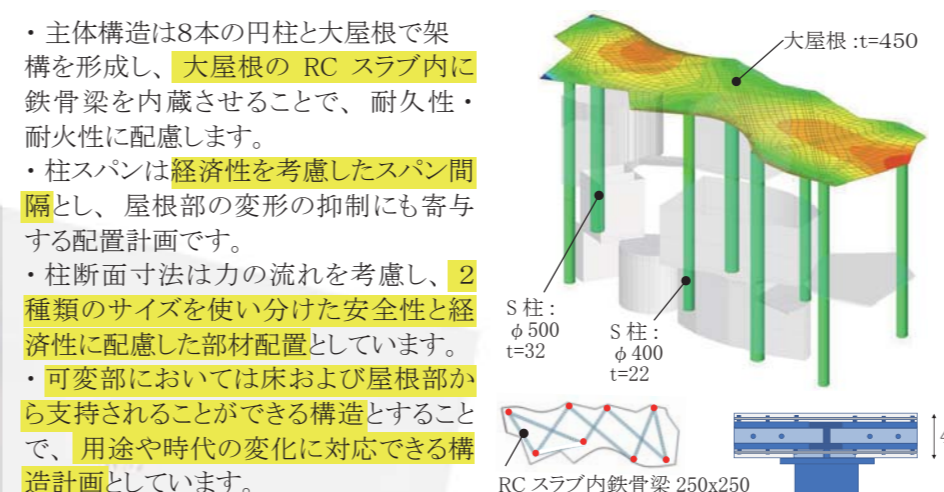
## D 力強さと耐久性・柔軟性を兼ね備えた構造計画

・主体構造は8本の円柱と大屋根で架構を形成し、大屋根のRCスラブ内に鉄骨梁を内蔵することで、耐久性・耐火性に配慮します。

・柱スパンは経済性を考慮したスパン間隔とし、屋根部の変形の抑制にも寄与する配置計画です。

・柱断面寸法は力の流れを考慮し、2種類のサイズを使い分けた安全性と経済性に配慮した部材配置としています。

・可変部においては床および屋根部から支持されることができる構造とすることで、用途や時代の変化に対応できる構造計画としています。



## E 自然エネルギーを取り込む呼吸する建築

[光] 大屋根により、直達日射をさげ熱負荷を軽減すると共に、不定形屋根により生まれる柔らかな間接光を最大限活用することで、消費電力を最小限にします。

[空気] 内外が連続する交番空間において、輻射と居住域空調により快適な空間を実現します。

冬期はヒートポンプを用いた温水床暖房、夏期はヒートポンプエアコンとし、季節により使い分けることで効果的な居住域空調を実現します。

熱負荷の少ない各小部屋は、個別エアコンとし、空調空気を中央空間にカスケード利用します。

自然採光

居住域空調

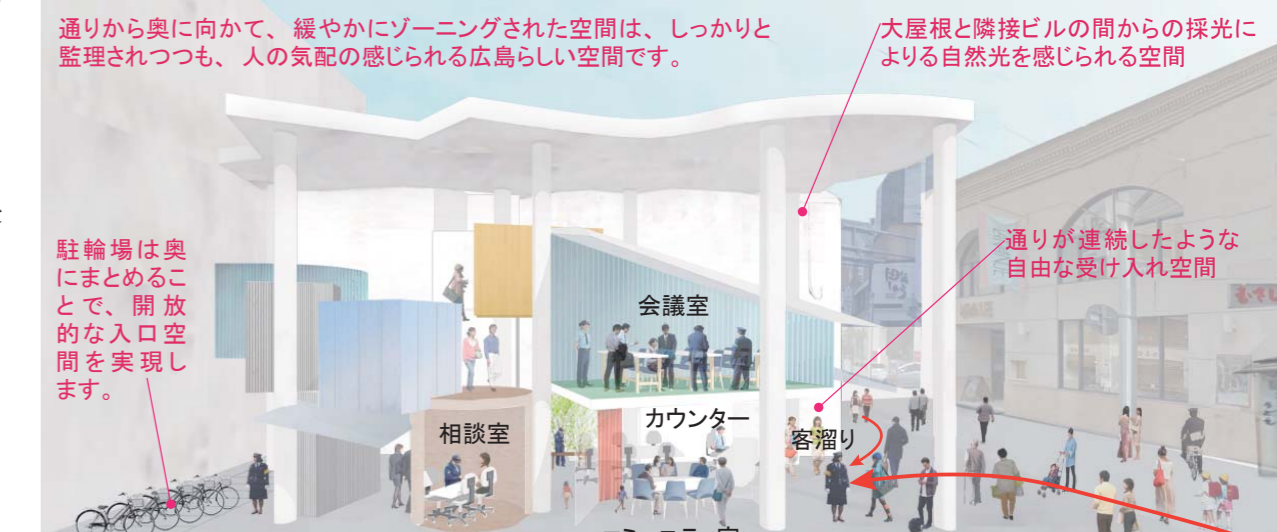
夏至12:00

冬至7:00

(2) 周辺環境と調和した良好な景観の形成に資する魅力ある施設づくり

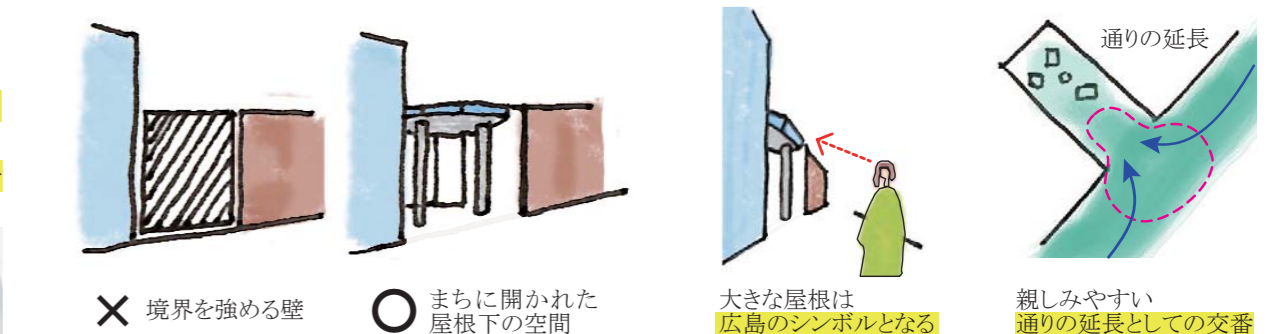
## 大きな屋根がつくる「人々の拠り所」とまちの活動と連続する「通りの延長としての交番」 (A,B,C,F,G)

・人の気配が感じられる空間構成により、高齢者や子どもなども入りやすく親しみやすい環境をつくります。まちに開かれた佇まいを超えて、広島らしいピロティ空間は、通りの延長として「誰もが気軽に立ち寄ることができる」という真の意味での景観との調和を実現します。



### F 周辺環境との調和活動が滲みでる交番

- ・まちに対して壁で隔てるのではなく、屋根をかけて賑いと交流を生む通りの延長となる場・中間領域をつくります。
- ・屋根高さにより景観の連続性に配慮します。



[特に重視する設計上の配慮事項]

## 竣工後もずっとまちと寄り添い続けます

私達は、公共施設の竣工後も、その地域を訪れ続け、ワークショップや地域の活動を続けています。竣工して終わりではない、まちと関わり続けることで真の意味でまちに開かれた建築をつくりたい。

[概算工事費]

概算工事費	
建築工事費	6,300万円
設備工事費	1,700万円
外構等(その他付属建物含む)	1,000万円
概算総工事費(税抜)	9,000万円